



手製 登り窯



仕事場、展示場から登り窯を望む



青唐津、刻鉦鉢(菓子器)



朝鮮唐津大皿をバックに青唐津徳利と斑唐津瓢形徳利



市の瀬高麗神窯の土を使っの土味、少々焼けすぎか…



ふくろう置物・酒器



藤ノ木 土平
Dohei Fujinoki
藤ノ木 陽太郎
Youtarou Fujinoki

土平氏
1949年新潟生まれ。
大杉皿屋窯で3年修
業した後、岐阜の美濃
を経て、唐津に戻って
開窯・独立。
陽太郎氏
1981年唐津生まれ。
父のもとで3年修行
し、現在共に作陶して
いる。

- 駐車場 (10台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

土平窯

土

陽

遊び心と唐津の心。

土平さんの唐津焼のキーワードは「遊び心」。「自然とものに生きることが信条。自分の気持ち次第で作品は変わるの」で、できるだけ自然体を目指している」その言葉通り、窯元をつくった場所は自然にあふれ、土平さんの作品は遊び心であふれている。

また、土平さんは「唐津の心」を大切にしている。唐津をよく知り、愛することで、唐津焼に魂が宿るといふ。その心は、土をもって表現される。活かすも殺すも自分次第だ。「土の持つ表情や色を引き出したい」と作陶づくりを続ける。土平さんの心、生き方そのものが、この唐津焼に託されている。

